

## 2. 土木建築部

### 3) 中城湾港(新港地区)緑地東Ⅳトイレ棟及び展望台新築工事(外1件)

所在地：うるま市

工期：H18.10.31～H19.4.27

構造：緑地東Ⅳ トイレ:RC造平屋建て 展望台:S造2階建て

緑地東Ⅵ トイレ:RC造平屋建て

建築面積：緑地東Ⅳ トイレ:53.22㎡ 展望台:13.26㎡

緑地東Ⅵ トイレ:51.96㎡

総工事費：53,483千円

公園環境(外構整備等)においては、緑地東Ⅳは周りに緑を配置し森を感じさせるような計画であり、また、緑地東Ⅵは周りに石材(トラバーチン)を使用し海を感じさせるような計画であることから、それぞれの公園環境に調和するような外観、デザイン、また施設においては利便性、快適性、清潔感に配慮した設計を行っている。

外観デザインは、既設の東屋と同じく屋根に県産赤瓦を、外壁にはトラバーチンを使用し、外構整備と同じ材料を使用する事で公園環境との調和を図っている。

展望台からは、海や勝連城跡が見渡せる眺望となっており、鉄骨柱などが直接触れる箇所を合成木材で覆うことで木の暖かみを与え、屋根に県産赤瓦を葺き、公園環境へ調和するような設計としている。



緑地東Ⅳ 展望台外観写真



緑地東Ⅵ トイレ外観写真



緑地東Ⅳ トイレ外観写真

### 4) 平和祈念公園トイレ新築工事

所在地：糸満市字摩文仁平和祈念公園内

工期：H19.9.22～H20.2.18

構造：鉄筋コンクリート造

建築面積：37.72㎡

総工事費：26,150千円



当施設は、各県の慰霊碑が建立されている慰霊ゾーンに建設されたもので、バリアフリー、手すりの設置、オストメイトを整備した多目的トイレなど多様な利用者に対応できるよう計画されている。

また、外壁の一部に有孔ブロックを設け、中の気配が感じられるよう、防犯や安全性に配慮するとともに、トップライトを兼ねた換気口により臭気対策を行っており、また、ひび割れの防止を考慮し、スランプ値の小さいコンクリートを使用している。

外構計画においては、既存のガジュマルを活かし、一息つける休憩スペースを設けている。



### 5) 平和祈念公園休憩所新築工事

所在地：糸満市字摩文仁平和祈念公園内  
 工期：H19.3.15～H19.9.10  
 構造：鉄筋コンクリート造  
 建築面積：589.53㎡  
 総工事費：136,867千円



平和祈念公園においては、現在レクレーション機能を充実させるべく公園北側において広場等の整備を進めているところである。

当施設は、平和祈念公園の来園者に対する総合的なインフォメーション機能を持つ施設として位置付けられており、多様な公園利用者に対応できるよう、ユニバーサルデザインに配慮して建設されている。

計画に当たっては、公園全体を望む南側に休憩室や広場を配置し、公園との一体化を図るとともに、自然採光、自然通風を取り入れ、明るく開放的な空間としている。



### 6) 座間味港浮棧橋付属施設新築工事

所在地：座間味村  
 工期：H19.12.8～H20.3.6  
 構造：RC造平屋建て  
 建築面積：161.2㎡  
 総工事費：37,833千円

本施設は浮棧橋利用者の為の待合所であり、位置的にも座間味港入り口に位置している為シンボリックな外観とした。

コンセプトとして、エコをテーマに①雨水利用②ソーラー発電③リサイクル舗装材④屋外断熱を板葺きにする等、積極的に取入れている。

また内部はバリアフリーを計り、段差をなくす事や、床材に弾性系の材料を使用している事等、細かい配慮も取入れた施設となっている。



外観写真



外観写真

## 2. 土木建築部(住宅課)

### 7) 県営登野城団地建替工事 (第2期)

県営登野城団地は、築30年経過し 建物の老朽化により時代にマッチした居住水準の向上と共に土地(団地)の有効利用を図ることを目的として、年度を分けて1期(18年度)、2期(19年度)の建替え工事として完成する事ができた。

1期工事(96戸)は、解体工事及び集会所を含め平成18年度11月に完成。

2期工事(104戸)は平成19年11月完成。

この団地の基本理念は、将来に向けて家族・世帯の変化、意識・価値観の変革に対応し高齢者・障害者に配慮した住戸計画としている。更に屋外環境整備は団地及び地域住民が相互尊重し交流できる豊かな住環境を創造する。合わせてコミュニティの核としての緑の大広場集会所といった安全で安心して活用できる施設整備を考慮している。

#### 施設概要

所在地：石垣市

建設工事：平成18年3月～平成18年11月(第1期) 平成19年3月～平成19年11月(第2期)

構造・階数：RC造 地上5階

敷地面積：19,911.60㎡

延べ床面積：1期 4,846.52㎡ 集会所含む

2期 7,441.28㎡ 19年11月30日完成



南側全景



南側全景



居間



台所・廊下



トイレ

### 8) 豊見城団地県改良住宅建設工事 (第3期)

#### 施設概要

所在地：豊見城市字平良

建設工事：平成19年2月～平成20年1月(第3期)

構造・階数：RC造 地上6階 (I棟：76戸・J棟：70戸 合計：146戸)

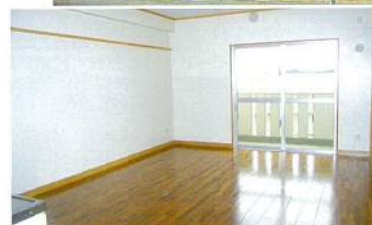
敷地面積：9105.42㎡

延べ床面積：9913.93㎡

総工事費 1,573,246千円

沖縄県と豊見城市を事業主体とした豊見城団地住宅地区改良事業では、沖縄県住宅供給公社により昭和44年から昭和51年にかけて建設された豊見城団地を、施設の劣化・老朽化に伴い建替えを行うことを目的としている。平成16年より解体を始め、平成22年までに、沖縄県が5棟・409戸、豊見城市が7棟・453戸の建設を行う予定である。

建設のテーマとして人に優しい住環境づくりと現在のコミュニティの維持・発展を目指している。



### 3. 教育庁

#### 1) 具志川商業高校校舎改築工事（1期工事）

所在地：うるま市  
 工期：H18.12.21～H19.8.20  
 構造：RC造3階  
 建築面積：普通教室棟651.92㎡  
           ：センター棟477.63㎡  
           ：特別教室棟643.21㎡  
           ：管理・産振C棟320.25㎡  
 総工事費：830,078千円

- コンセプト：尊敬、友情そして夢の実現、緑豊かな活気溢れる学舎
- 既存校舎を改修などで利用し、仮設校舎を作らずに計画した。
- 既存校舎を利用しながら改築としての機能を最大限、発揮できる様に校舎の配置を行った。
- 敷地内はバリアフリーとし、施設内全体を容易に移動出来るよう計画した。
- 敷地の内外にある多数の樹木を生かすような計画とした。
- 二期に渡る校舎改築の1期工事である。



外観写真



外観写真

#### 2) 与勝高校・与勝緑が丘中学校校舎新築改築工事

所在地：うるま市勝連平安名3248番地  
 工期：H18.09.01～H19.08.31  
 構造・階数：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)・地上4階建  
 総工事費：1,662,332(千円)  
 延床面積：9,287.91㎡

- 6年間の中高一貫教育のゆとりのある学校生活の中で基礎・基本の定着を図り、情報活用能力を身に付け、自らの能力・適性を正しく認識して将来の高校志の高い生徒を育成する。  
 又、自ら課題を見つけ 自ら学び考えて解決していく資質や能力「生きる力」の育成できる施設の計画とする。
- 琉球の歴史と文化に誇りをもち、旧勝連町の「きむたかの町」・旧与那城町の「あやはしの町」の理念を大切にして、自然を愛する心豊かな人材育成を構築する施設づくりとして、正面玄関のモチーフを勝連城より導いた計画とする。
- 環境教育や物を大切にすることを育成する施設づくりを目指す。緑化コンクールで優勝した実績の庭園を最大限配慮した配置計画とする。
- 正しい進学観・職業観・労働観を身につけた人格の形成に努め、良き社会人として行動できる生徒を育成する施設づくりを目指す。生徒の創造性・希望を育む配置計画とする。
- 地域の歴史や文化を学び継承していく良き指導者として、地域に根ざし貢献できる人材育成を構築する施設づくりを目指す。学校も小さな社会の集合体であり、中学生・高校生・先生が動きやすく、学びやすい学校全体の敷地・配置計画とする。



校舎正面（全体計画パース）



校舎正面

■コア西棟  
 構造階数：鉄筋コンクリート造・地上4階建



コア西棟側面



コア西棟：昇降口



コア西棟：多目的教室

### 3. 教育庁

#### ■特別棟

構造階数：鉄筋コンクリート造・地上4階建  
延べ面積：2,237㎡



交流広場より全景



交流広場より特別棟

#### ■中学棟

構造階数：鉄筋コンクリート造・地上4階建  
延べ面積：1,952㎡



特別棟：被服教室



特別棟：音楽室



中学棟：多目的教室



中学棟：技術教室



中学棟正面

#### ■屋内運動場及びプール棟

##### ■屋内運動場

構造階数：鉄筋コンクリート一部鉄骨造・地上2階建  
延べ面積：2,734㎡



運動場より屋内運動場全景



屋内運動場側面



屋内運動場：アリーナ内部



屋内運動場：昇降口内部



屋内運動場・水泳プール棟全景



屋内運動場昇降口付近



屋内運動場：ギャラリー部



屋内運動場：武道場内部

3) 北谷高校管理棟増改築工事



■施設概要

所在地：北谷町字桑江414番地  
 地域・地区：第1種低層住居専用地域  
 工期：自平成19年3月15日  
 至平成20年3月31日  
 建物用途：学校校舎  
 敷地面積：約33,200㎡  
 建築面積：1,656㎡  
 延べ面積：5,468㎡  
 構造・階数：RC造 4階建て  
 総工事費：1,000,044千円



エントランスホール

■設計主旨

北谷高校全面改築事業の第2期工事として本校舎の工事を実施した。

本校舎は、学校の管理部門や特別教室（理科系教室、コンピューター教室等）の各諸室を配置しており、建物内外における段差の解消、エレベーター等の設置によるバリアフリーに配慮した施設整備を実施した。

第1期工事で完成した普通教室棟、体育館と渡り廊下でつなぐなど、生徒の移動の利便性に配慮した計画としている。

4) 西原高校屋内運動場及び武道場増改築工事



■施設概要

所在地：西原町字翁長610番地  
 地域・地区：第1種中高層住居地域  
 工期：自平成18年9月22日  
 至平成19年7月13日  
 建物用途：屋内運動場  
 敷地面積：40,960㎡  
 建築面積：2,328㎡  
 延べ面積：2,730㎡  
 構造・階数：RC造一部鉄骨造2階建て  
 総工事費：412,981千円



アリーナ

■設計主旨

本建物は主にアリーナ、武道場、トレーニング室等の各諸室を配置しているが、学習、部活動、集会等の多様な学校運営に対応できるように配慮した施設計画としている。

学校体育施設開放事業に基づき、外来者からもわかりやすい施設づくりを目指し、段差の解消、多目的トイレの設置などバリアフリーに配慮した施設づくりを行った。

また、環境に配慮した雨水利用設備の整備を実施している。